令和３年度　理科　授業改善推進プラン

大田区学習効果測定　結果の分析

○ 問題の内容別正答率では、４年生は８項目、５年生は３項目、６年生は６項目において目標値を上回った。
○ 領域別正答率では、４年生、６年生が２領域中２領域において目標値を上回った。５年生が２領域中２領域で目標値を下回った。
○ 観点別正答率では、４年生、６年生は３観点において目標値を上回った。５年生が３観点で目標値を下回った。

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
４年生、６年生は目標値を上回った。 ５年生は目標値を下回っている。 実験結果を丁寧にまとめたり、分かったことを記述したりするなどして、知識・理解を増やしていく。	４年生、６年生は目標値を上回る結果となった。 ５年生は目標値を下回っている。 今までの経験や知識を活用して、実験結果からいえることを考えたり、話し合ったりすることで思考力を高めていく。	４年生、６年生は目標値を上回る結果となった。 ５年生は目標値を下回っている。 理科への興味関心をもてるように ICT 等を駆使し、指導を工夫していくことで向上を図っていく。

課題<今回の調査結果から>

今年は問題の内容別正答率では、４年生は、「身近なしぜんのかんさつ」「植物の育ち方」「太陽と地面のようす」「光のせいしつ」「風やゴムのはたらき」「音のせいしつ」「電気の通り道」「物の重さ」では、５ポイント以上目標値を上回った。「太陽と地面のようす「じしゃくのせいしつ」では、５ポイント以上目標値を下回った。

５年生は、「電気のはたらき」「物のあたたまり方」では、５ポイント以上目標値を上回った。「1年間の動物のようす」「天気のようすと気温」「月と星」「自然の中の水」「水のすがた」「物の体積と温度」「水のすがた」では、５ポイント以上目標値を下回った。

６年生は、「植物の発芽と成長」「魚のたんじょう」「人のたんじょう」「電流のはたらき」「流れる水のはたらき」では、５ポイント以上目標値を上回った。「物のとけ方」「けんび鏡の使い方」では、５ポイント以上目標値を下回った。

〇知識・理解では、実験結果を丁寧にまとめて、実験方法の理解と知識の定着を図ることで成果を出せたところがある。また、今後も単元の学習後も定期的に掲示物やノート、ワークシート等を活用して振り返り、知識の定着を図る。
〇思考・判断・表現の力を伸ばすために、日常の授業の中で、既習内容と結び付けて考えられるように工夫したり、導入で児童に身近な事象と出会わせて学習問題を立てさせたり、事実と考えを区別しながら工夫して表現する機会を設ける。
〇主体的に学習に取り組む態度を伸ばすために、知識を日常生活で活用する習慣をつけたり、観察や実験をしたりして得た知識を生活で生かせるようにしていく。
〇実験や観察に用いる器具の使い方については教師が見本を示したり、実験や観察方法を考えさせたりしていく。また、観察の視点を明示して見通しをもって意欲的に学習に取り組めるようにする。